

区分 1	総単位	SC単位	区分 2	履修年次	科目概要	
共生科学基盤科目群	星槎学	2	0.5	必修	1	「星槎」が、必要とされる人々のために新たな道を創造し、人々が共生する社会の実現を目指し、成し遂げてきたその歴史や取り組みについて知り、「共生」や「共感理解教育」について学修します。
共生科学基盤科目群	共生科学総論	2	0.5	必修	1	人と人、人と多文化、国と国との共生について、様々な分野や領域から考える科目です。身近な話題や普段あまり触れない情報も踏まえ、多様な角度から考えてみましょう。
共生科学基盤科目群	共生科学教育論	2	0.5	選択必修	2-3	教育・学習という行為は生活のさまざまな場面で現れます。共生社会を構築するための教育とは何かを対話を通して考えます。教育を専門としていない学生も是非受けてください。特に初年次の学生に推奨します。
共生科学基盤科目群	共生科学環境論	2	0.5	選択必修	2-3	私たち人間にとって人と自然が、より良い関係を築き、持続可能な地球社会を実現していくために、私そしてあなたが、どのような見方・考え方をもち、行動していくのかを考えていくための基礎として、宇宙を理解し、地球を理解しながら、自分とそれを取り巻く環境について一緒に考えていきましょう。
共生科学基盤科目群	共生科学国際協力論	2	0.5	選択必修	2-3	途上国の実情、日本の経済協力、いのちや健康に関する世界の課題、PKOなどの人的貢献、ODAによる国際貢献、国際協力機構(JICA)青年海外協力隊、NGO等の活動について、経験を踏まえて紹介し、共生的な世界を築くための国際協力のあり方を議論します。
共生科学基盤科目群	共生への対話	2	0.5	選択必修	1	共生とは何か、どうすれば実現するのか、あなたの考えを語り、みんなの話に耳を傾け、できることから始めましょう。本科目はその第一歩です。特に初年次の学生に推奨します。
共生科学基盤科目群	レポートゼミ（基本）	2	0.5	選択必修	1	レポートの書き方を修得することを目的とします。特に、自身が学んだことや調査したこと、自身の主張や意見を適切に言葉にする基本技術を実践的に学びます。なお、スクーリングではグループディスカッションを行います。
共生科学基盤科目群	レポートゼミ（演習）	2	0.5	選択必修	2-3	レポートの書き方を修得することを目的とします。レポートゼミ（基本）を踏まえて、どのような設計図を用いれば、レポートがわかりやすくスムーズに書けるのかを実践的に学びます。なお、スクーリングでは一部の学生による発表も行います。
共生科学基盤科目群	キャリアデザイン入門	1	1	選択必修	1	ダイバーシティ&インクルージョン・起業・副業・フリーランスなど、「しごと」との向き合い方も多様になってきました。日々大きく変化していく社会を生きるための、キャリアデザインの入門編として、実践ワークやインタビューなどを通して自分オリジナルの生き方・働き方・学び方をさまざまな視点から学び、考えていきます。
共生科学基盤科目群	キャリアデザイン基礎	1	1	選択必修	2-3	『生き方学』として、自分はどのような人間なのか、何を大切に生きていくのか、どんな働き方がしたいのかを、実践ワークの中から考え、自分を磨きます。自己理解からスキルアップ・実践まで学んでいきます。
共生科学発展科目群	共生研究	4	1	選択必修	4	星槎大学の学びの集大成の科目のひとつです。研究指導教員による指導の下、スクーリングでのディスカッションを通じて、共生・共生科学に関するテーマについて研究を行った成果を共生研究論文あるいは共生に関する制作(報告書含む)とまとめることを目指します。
共生科学発展科目群	卒業論文	6	2	選択必修	4	星槎大学の学びの集大成の科目のひとつです。研究テーマの専門分野の教員が主研究指導教員となります。研究計画、実施、進捗状況の共有、構成について研究指導を受けながら、専門的に研究を深めた成果を卒業論文としてまとめることを目指します。
教養科目群	ジョブ・スキル	2	0.5		1	ラジオDJ体験！ ペアやトリオチームで模擬番組を作成し、トークスキル・原稿読み・プレゼン・企画スキルを磨きます！ 「人に聴かせる話し方」について実践を通して楽しく学びます。
教養科目群	ボランティア活動	2	2		1	地域貢献だけでなく、支え合う共生社会の一員であると自覚し、目的を持ってボランティア活動を行っていきます。そしてその実践を通じて課題探究能力の向上及び社会に貢献する奉仕の心の育成を行います。

教養科目群	インターンシップ	2	2		2-3	「働くとはどういうことか」について、実際に職場での体験を通して全般的に学んでいきます。
教養科目群	アクティブラーニング・ファシリテーション	2	0.5		1	「主体的・対話的で深い学び」は、学校だけではなく、職場、地域等の21世紀のあらゆる場が必要です。アクティブラーニング及びファシリテーションについて、学生の興味関心に基づいて、グループワークを中心に実践的に学びます。
教養科目群	カウンセリングⅠ	2	0.5		2-3	カウンセリングは相手が「よりよく生きる」ための手助けを行う活動で、主に学齢期を対象に「育てる」カウンセリングのために必要な知識と技術を学んでいきます。
教養科目群	カウンセリングⅡ	2	0.5		2-3	カウンセリングは相手が「よりよく生きる」ための手助けを行う活動で、主に成人期以降を対象に、その人が自分の生き方を受け入れて人生を歩むことができるように、知識と技術を学んでいきます。
教養科目群	ソーシャル・マーケティング	2	0.5		2-3	マーケティングの基本的なスキルを身につけることで、ターゲットとWin-Winの「共生」の関係を構築して、社会を変革する能力を身につけていきます。
教養科目群	日本国憲法	2	0		1	国家にはなぜ憲法が必要なのか、憲法はどのような性質を備えていなければならないのか。こうした根源的なところに立ち返って学んでいきます。
教養科目群	スポーツ（１）	1	0.5		1	さまざまな生涯スポーツを通して、自分自身の体力向上や健康の維持増進をはかるためにはどうすればよいかということ学んでいきます。
教養科目群	スポーツ（２）	1	0.5		1	自然の中で行われるスポーツや身体活動について、多面的な視点から分析し、スポーツのあり方について学んでいきます。
教養科目群	英語コミュニケーション（１）	2	0.5		1	英語の面白さとコミュニケーションの楽しさを発見できるように組み立てます。ネイティブスピーカーが使用している英語に焦点を当て、簡単に役立つ、外国人とコミュニケーションする方法を学びます。
教養科目群	英語コミュニケーション（２）	2	0.5		1	英語の面白さとコミュニケーションの楽しさを発見できるように組み立てます。ネイティブスピーカーが現在使用している英語に焦点を当て、英語コミュニケーションを修得し友達を作り楽しんでください。
教養科目群	情報処理	2	0		1	ICT活用の基本となるワープロ（Word）、プレゼンテーションソフト（PowerPoint）、表計算ソフト（Excel）などを活用した教材づくり、校務情報処理へ適応するための学修、プログラミング教育へ適応するための学修をすすめていきます。
教養科目群	データサイエンス（１）	2	0.5		2-3	高度情報化社会において、多くの情報が様々なデータから導き出されています。これからは変化し続けていく社会において必要なデータサイエンス（データの特性等）について、基礎から応用まで学んでいきます。
教養科目群	データサイエンス（２）	2	0.5		2-3	高度情報化社会において、多くの情報が様々なデータから導き出されています。これからは変化し続けていく社会において必要なデータサイエンス（データの活用等）について、基礎から応用まで学んでいきます。
教養科目群	特別支援教育論	2	1		1	社会の人々に共生の意識と価値観を醸成するにはどうすればよいかを思索しながら、特別支援教育の歴史、理念、制度、現状と課題、展望、インクルーシブ教育システム構築などについて学んでいきましょう。
教養科目群	発達障害教育総論	2	1		1	LD、ADHD、自閉スペクトラム症、知的障害など発達障害は、認知発達の個人差を原因とします。認知発達を中心として発達障害を学修する科目です。

教養科目群	エシカル社会論	2	0		2-3	エシカル（倫理的）消費を通してエシカル社会について学びます。エシカル消費とは、SDGsを達成するためのサステナブルな取り組みの一つで、特にゴール12に関連しています。授業では、わたしたち一人ひとりの消費活動を見直し、人や社会、環境、あるいは地域・社会に配慮した消費について考えます。一緒に取り組んでみませんか。
教養科目群	世界の見方とジャーナリズム	2	0.5		1	ポスト・トゥルースといわれる不透明な時代、何が真実なのか、うそなのか。重要性を増すジャーナリズム・メディアの役割を問い直し、フェイクニュースの見極め方を学びます。
教養科目群	NGO・NPO論	2	0		2-3	ボランティア精神、清貧など性善説で覆われているNGO・NPOについて、国際NGO、国連で活躍してきた著者の実践や考え方から、NGO・NPOについて考えてみましょう。
教養科目群	歴史学入門ゼミ	2	1		1	身近なもの/できごとについて歴史的な文脈のなかで捉える実践的内容で、発表と質疑を通じて多面的なものの見方、他者の意見を取り入れる能力を養うことを目的とします。
教養科目群	ジェンダー論	2	0.5		2-3	性別（gender）という概念を探究し、単に生物学的な性差だけでなくLGBTQ+や性別に関する社会的構築や不平等について焦点を当てていきます。
教養科目群	特別ゼミナール	2	0.5		1-3	Zoom（Web会議アプリケーション）を使い、世界中どこからでも受講でき、教員から直に指導を受けられる通信ならではの「ゼミナール」です。
教養科目群	共生課題研究	2	0		1-3	日常生活や社会活動、現場での学びでの実習や演習などの学修を通じて、さまざまな問題・課題を「共生」という視点から捉え、教員の指導を受けながら、研究を深め、レポートとしてまとめます。
共生科学専攻科目群	生涯学習論	2	0	教育分野	1	生涯学習が個人の自己実現から、社会の創造のために学ぶことへと変化している点を学びます。またこどもの教育学ではない、おとなの教育学を学びます。
共生科学専攻科目群	ワーク・ライフ・バランス論	2	0	教育分野	2-3	ワーク・ライフ・バランスの考え方の家庭生活・仕事・余暇時間・地域への関わりといった要素をいかにバランスよく取り、人間として豊かな生活について送るかを考えていきます。
共生科学専攻科目群	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	0	教育分野	2-3	「持続可能な開発（SD）」は国内外で環境や開発（貧困）の問題を考えるうえで重要な概念です。そのための教育に何が必要か幅広い視野で見えていきます。
共生科学専攻科目群	心理学（1）	2	0	教育分野	1	教員、社会福祉士など対人援助者として必要な心理学的な支援に関して、知識と技術等、広範囲に学修しながら、対人援助者としての態度も学んでいきます。
共生科学専攻科目群	心理学（2）	2	0	教育分野	1	教員、公認心理師など、「こころ」に関し直接的にかかわる対人援助者として必要な知識と技術等を広範囲に学修しながら、「こころ」の援助者としての態度も学んでいきます。
共生科学専攻科目群	臨床心理学	2	0.5	教育分野	2-3	「来談者中心療法」「交流分析」「行動分析」など、複数の心理学の理論にふれながら、「こころ」の時代を多面的に学んでいきます。

共生科学専攻科目群	認知心理学	2	0.5	教育分野	2-3	認知とは、知的機能全般を意味し、人間の心と行動を理解することを目指しています。記憶のメカニズムをとおして、記憶することと理解することの違いについて学びましょう。
共生科学専攻科目群	言語発達学	2	0.5	教育分野	2-3	言語は、わたしたちが他者とコミュニケーションをとるうえで重要なツール（道具）です。話す、聞く、書く、読む、コミュニケーションについて、学びましょう。
共生科学専攻科目群	歴史概説Ⅰ	2	0.5	教育分野	1	「世界史の中の日本史」をテーマとし、日本が諸外国とどのような関係性の中で発展したかを考えることで歴史的知見や国際感覚を養います。
共生科学専攻科目群	歴史概説Ⅱ	2	0.5	教育分野	1	ヨーロッパ史を主なフィールドとし、出来事が「なぜ」起きたのか、どのような「影響」を及ぼしたのか、因果関係を重視して考えることで歴史的思考能力を養います。
共生科学専攻科目群	日本史Ⅰ	2	0.5	教育分野	2-3	日本史（原始・古代から中世）について、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目します。日本史について覚えるのではなく、考えることを目的とします。
共生科学専攻科目群	日本史Ⅱ	2	0	教育分野	2-3	日本史（近世から現代）について、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目します。日本史について覚えるのではなく、考えることを目的とします。
共生科学専攻科目群	外国史Ⅰ	2	0.5	教育分野	2-3	外国史は、広大な地理的概念を伴う。本講義では、最新の研究に依拠しつつ、いわゆる西洋史、東洋史に留まらず、グローバルヒストリーとしての外国史を各地域とのつながりを意識して捉えていく。
共生科学専攻科目群	外国史Ⅱ	2	0	教育分野	2-3	外国史は、広大な地理的概念を伴う。本講義では、最新の研究に依拠しつつ、いわゆる西洋史、東洋史に留まらず、グローバルヒストリーとしての外国史を各地域とのつながりを意識して捉えていく。
共生科学専攻科目群	地理概説Ⅰ	2	0.5	教育分野	1	地理学の基本事項を自然地理学の領域を中心に学び、自然環境と人間の生活との関わりを通して、世界の諸地域の地域的特色を理解していきます。
共生科学専攻科目群	地理概説Ⅱ	2	0	教育分野	1	地理学の基本事項を人文地理学の領域を中心に学び、世界の諸地域の現状を理解するとともに、地域が抱える今日的な課題についても考えていきます。
共生科学専攻科目群	人文地理学	2	0	教育分野	2-3	我が国が抱える地理的諸課題や複雑な人間生活空間を考察していきましょう。
共生科学専攻科目群	自然地理学	2	0	教育分野	2-3	自然地理学の地理学における位置、その系譜を考察し、地形図の作業を通して地表空間を理解していきましょう。
共生科学専攻科目群	法学	2	0	教育分野	1-3	法とは何かという根源論に始まり、独特の法的な考え方、実定法の中で特に基本をなす憲法、民法、刑法、そして法と裁判の基礎的知識を学びます。
共生科学専攻科目群	政治学	2	0	教育分野	1-3	さまざまな価値観をもった人びとが、共に生きていくために、話し合いをして物ごとを決める「政治」、その意味と重要性について考え、学びます。
共生科学専攻科目群	社会学	2	0.5	教育分野	1-3	観念の世界でなく、現実には生起している社会事象を独自の道具を使って読み解いていきます。現代社会の問題について一緒に考えていきましょう。
共生科学専攻科目群	医療社会学	2	0	教育分野	1-3	健康と病の社会的側面について、医療社会学の知見を基に学修していきます。病や障がいと共に生きることについて考える基礎を学んでいきましょう。

共生科学専攻科目群	経済学	2	0	教育分野	1-3	私たちを取り巻く今日世界の政治経済状況を、経済思想や経済分析を交えながらわかりやすく説明することを大きな狙いに行っています。
共生科学専攻科目群	哲学・倫理学	2	0.5	教育分野	1-3	「人間とは何か?」「幸せになるにはどうしたらよいのか?」などの身近な問題を、哲学者・倫理学者の考え方をたどりながら、共に考える科目です。
共生科学専攻科目群	宗教学	2	0	教育分野	1-3	世界の主要な宗教の歴史、特長を学び、基礎的な理解を目指します。宗教は人類の歴史とともにあり、さまざまな文化の形成に大きな役割を果たしてきました。多様な宗教文化をその歴史や、思想、哲学にも目を向けつつ考察します。
共生科学専攻科目群	公共哲学	2	0.5	教育分野	1-3	より善き公正な社会を追究しつつ、現下で起こっている公共的問題を考えるために必要な「個人と社会の関わり方」について、みんなで考えるための科目です。
共生科学専攻科目群	教育特別講義	1	1	教育分野	1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
共生科学専攻科目群	教育原理	2	0	教育分野	1	教えること、学ぶことは不思議に満ちています。さまざまな不思議にじっくりと向き合いながら、一つひとつ自分なりの答えを探る授業です。
共生科学専攻科目群	教職概論	2	0.5	教育分野	1	教職とは何か。その根本に立ち返り、さまざまな視点で論じ考察します。「先生になりたい」という思いに肉づけをし、教育課題も取りあげます。授業では、対話や探究を通して、主体的な思考や深い学びを目指します。
共生科学専攻科目群	教育経営・学校安全論	2	0.5	教育分野	2	初等・中等教育における教育経営の制度面及び課題、さらには安全教育や危機管理の基礎知識を学び、具体的な対応が図れることを狙いとします。
共生科学専攻科目群	教育心理学	2	0	教育分野	2	教育心理学が「根拠に基づいて」子どもの発達を理解した上で教育を行うことを目指し、また、教育の場でのさまざまな問題を解決するための知識・技能・態度を修得することを目指していることについて学びます。
共生科学専攻科目群	教育課程論	2	0.5	教育分野	1	学校教育における教育課程の役割・機能・意義と教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し、最新の教育課程の方向性とカリキュラム・マネジメントについて学びます。
共生科学専攻科目群	道徳の理論・指導法（中等）	2	0.5	教育分野	2	主体的な判断の下に行動し、他者とともによりよく生きる基盤となる道徳性の育成を目指す基礎を学び、指導計画や授業プランの作成、授業展開の構想など、実践的な指導力を身に付けます。
共生科学専攻科目群	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	0.5	教育分野	3	総合的な学習の時間では、課題を見だし、情報を集め、整理・分析していく探究的な学修を進めます。このねらいを理解し、実践的な指導法の修得を目指します。
共生科学専攻科目群	特別活動の指導法（中等）	1	0.5	教育分野	3	特別活動は、集団活動を通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の力を育みます。特別活動の考え方やすめ方について学び、そこで求められる教員の実践的指導力を培うための基礎を学修していきます。
共生科学専攻科目群	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（中等）	2	0.5	教育分野	1	教育方法、授業づくりに関する基礎的事項、授業における情報通信技術の活用法について理解し、授業の構想・設計ができることをねらいとしています。
共生科学専攻科目群	生徒・進路指導論（中等）	2	0.5	教育分野	3	教師が生徒の健全な育成を目指し、生徒一人一人の自己実現を図っていくための自己指導力を育成する指導内容や具体的な指導法について学ぶとともに、生徒指導、教育相談、キャリア教育についての知識を深め、その指導方法等について学びます。
共生科学専攻科目群	教育相談	2	0.5	教育分野	3	令和4年に改訂された『生徒指導提要』では、教育相談について、「個人の資質や能力の伸長を援助するという発想」に基づき、「児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけること」と説明されています。自己実現のためには児童生徒の自己理解や他者理解が重要ですが、これを支える土台となるのは、教員自身の自己理解です。本科目では、教員として児童生徒や保護者に対する教育相談を行うにあたって必要となる諸要素について学びます。

共生科学専攻科目群	社会科公民科指導法Ⅰ	2	0.5	教育分野	2	中教審答申・学習指導要領及び『社会科・地歴科・公民科指導法』（星槎大学出版会）をテキストにして（以下、Ⅱ～Ⅳも同じ）、主に中学社会科について学びます。SCでは模擬授業を行い、実践力を高めます。
共生科学専攻科目群	社会科公民科指導法Ⅱ	2	0.5	教育分野	3	主に高校公民を取りあげ、公民科の三科目「公共」「倫理」「政治経済」の内容構成とその相互関連性を学びます。SCでは「導入」を意識した模擬授業を行い、実践力を高めます。
共生科学専攻科目群	社会科公民科指導法Ⅲ	2	0	教育分野	3	中教審答申や学習指導要領に述べられていることを踏まえ、今日的な社会科指導法を学びます。また、「主体的・対話的で深い学び」を念頭に提出課題を構成し、実践力を高めます。
共生科学専攻科目群	社会科公民科指導法Ⅳ	2	0	教育分野	4	中教審答申や学習指導要領に述べられていることを踏まえ、今日的な社会科指導法を学びます。また、「共生」を念頭に提出課題を構成し、実践力を高めます。
共生科学専攻科目群	地理歴史科指導法Ⅰ	2	0.5	教育分野	2	高等学校地理歴史科の教員を目指す者が、必須とする学習指導要領をはじめとした法的な根拠を学ぶとともに、学習指導要領に示された地理歴史科の目標や内容を理解することを目的とします。
共生科学専攻科目群	地理歴史科指導法Ⅱ	2	0.5	教育分野	3	高等学校地理歴史科の教員を目指す者が、教材研究や学習指導案の作成、評価法など教育現場に必要な基礎的な教授法を身につけるとともに、情報通信技術を活用した最新の授業法を学ぶことを目的とします。
共生科学専攻科目群	授業実践演習	2	0.5	教育分野	2-3	授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価・改善の方法と技術を学びます。スクーリングでは、授業コミュニケーションに着目した授業について、模擬授業の中で相互に評価・改善しながら、効果的な授業づくりについて学んでいきます。
共生科学専攻科目群	学校ボランティア	1	1	教育分野	2-3	学校体験活動で、教育実習の前段階として位置づけられています。担当教員の指導を受けながら、学校現場の観察・参加を通して学校の様子を知ることを行います。
共生科学専攻科目群	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	0.5	特別支援分野	1	発達障害や不登校、貧困といった現代の幼児・児童・生徒が抱える諸問題及びそれらへの対応、そして社会的自立について具体的に解説します。
共生科学専攻科目群	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2	0.5	特別支援分野	2-3	さまざまな支援ニーズのある幼児・児童・生徒を支える方法について主に特別支援教育の視点で検討します。受講者が話し合う形の事例検討が中心になります。
共生科学専攻科目群	応用行動分析学	2	0.5	特別支援分野	2-3	人が行動するには「理由（わけ）」があります。その理由はあなたが考えている日常的直観とは全く違うものです。本科目ではそういう行動の原理について具体的に学びます。
共生科学専攻科目群	発達障害教育指導法（1）	2	1	特別支援分野	2-3	発達障害のある方々の理解と支援について幅広く視野を広げるとともに、教室や家庭で実践できる考え方や方法について学んでいきます。
共生科学専攻科目群	発達障害教育指導法（2）	2	1	特別支援分野	2-3	通常学級に在籍している発達障害のあるこどもについて、特性の理解、学級全体での支援と個別支援の両輪でどうこどもを支えるかを検討していきます。
共生科学専攻科目群	発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ	1	1	特別支援分野	2	知能検査や認知検査は、認知発達の程度を測る検査です。障害の判定だけでなく、今何ができて、次の課題は何かを見つけることを学修します。
共生科学専攻科目群	発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ	1	1	特別支援分野	3	知能検査や認知検査は、認知発達の程度を測る検査です。障害の判定だけでなく、今何ができて、次の課題は何かを見つけることを学修します。

共生科学専攻科目群	聴覚・言語障害児への支援	2	0.5	特別支援分野	2-3	「ことば」は人と人をつなぐツールといえます。この科目では、ことばの成り立ちや「聴覚・言語障害」をかかえるこどもたちの実態と支援の方法を学修します。
共生科学専攻科目群	自閉症児・者の心理と支援	2	0	特別支援分野	2-3	自閉スペクトラム症（ASD）児・者について、彼らの特性を理解し、アプローチの方法とASD児・者の生涯にわたる支援について整理をし、実際に支援ができることを目指します。
共生科学専攻科目群	発達障害と医療	1	1	特別支援分野	2-3	発達障害児・者には、適切な理解と対応が必要です。発達障害児・者の特性や本質を医学的に理解し、社会的不適応をどうしたら減らせるかを考えます。
共生科学専攻科目群	特別支援教育特別講義	1	1	特別支援分野	1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
共生科学専攻科目群	視覚障害の心理・生理・病理Ⅰ	2	0.5	特別支援分野	1	本科目では、視覚障害の心理・生理・病理の基礎的事項を取り扱います。具体的には、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、視覚障害のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	視覚障害の心理・生理・病理Ⅱ	2	0	特別支援分野	2	本科目では、視覚障害の心理・生理・病理Ⅰで学ぶ基礎的事項をもとに、視覚障害の状態やその評価、発達及び認知の特性の理解について学習します。また家庭や医療機関との連携の在り方を理解することを目指します。
共生科学専攻科目群	視覚障害教育指導法Ⅰ	2	0	特別支援分野	2	視覚障害教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また視覚障害教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	視覚障害教育指導法Ⅱ	2	0.5	特別支援分野	3	視覚障害の状態や特性及び心理発達の段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項について学習します。さらに視覚補助具やICT及び触覚教材、拡大教材及び音声教材の活用について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	視覚障害教育総論	2	0	特別支援分野	4	「まなぶ」の語源は「まねぶ」です。ところが視覚障害児は視覚的な模倣が困難です。情報の大半を奪われた視覚障害児への具体的な指導方法を学びます。
共生科学専攻科目群	聴覚障害の心理・生理・病理Ⅰ	2	0.5	特別支援分野	1	本科目では、聴覚障害の心理・生理・病理の基礎的事項を取り扱います。具体的には、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、聴覚障害のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	聴覚障害の心理・生理・病理Ⅱ	2	0	特別支援分野	2	本科目では、聴覚障害の心理・生理・病理Ⅰで学ぶ基礎的事項をもとに、聴覚障害の状態やその評価、発達及び認知の特性の理解について学習します。また家庭や医療機関との連携の在り方を理解することを目指します。
共生科学専攻科目群	聴覚障害教育指導法Ⅰ	2	0.5	特別支援分野	2	聴覚障害教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また聴覚障害教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	聴覚障害教育指導法Ⅱ	2	0.5	特別支援分野	3	聴覚障害の状態や特性及び心理発達の段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項について学習します。さらに、学習環境の整備とICT及び教材・教具を活用について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	聴覚障害教育総論	2	0	特別支援分野	4	聴覚障害の生理・病理学的側面の問題が言語やコミュニケーション等の心理的側面にどのように影響を及ぼすかについて学びます。また、乳幼児期から成人期までに獲得すべき能力について、歴史的変遷を踏まえ、教育的視点で考察します。
共生科学専攻科目群	知的障害の心理・生理・病理	2	0	特別支援分野	1	知的障害(知的発達症)の心理・生理・病理について、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、知的障害のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	知的障害教育指導法	2	0	特別支援分野	2	知的障害教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程・カリキュラムマネジメント）について学習します。また知的障害教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	知的障害教育総論	2	0	特別支援分野	3	知的障がいのあるこどもの学校教育の制度、教育課程や指導法、及びインクルーシブ教育の成立や日本の現状、諸外国における制度などについて、総合的に学修します。

共生科学専攻科目群	肢体不自由の心理・生理・病理	2	0	特別支援分野	1	肢体不自由の心理・生理・病理について、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、肢体不自由のある子どもの発達を促すための家庭や医療機関との連携の重要性について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	肢体不自由教育指導法	2	0	特別支援分野	2	肢体不自由教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また肢体不自由教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	肢体不自由教育総論	2	0	特別支援分野	3	肢体不自由特別支援学校の児童生徒の障害の重度・重複化、病弱化を踏まえて授業を行います。
共生科学専攻科目群	病弱の心理・生理・病理	2	0	特別支援分野	1	病弱の心理・生理・病理について、心理発達および心理学に基づいた評価及びそれらの理解に欠かせない脳機能に関わる病理・生理の内容について学習するとともに、病弱のある子どもの発達を促すための家庭・医療・福祉との連携の重要性について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	病弱教育指導法	2	0	特別支援分野	2	病弱教育における教育制度・システムに関する基礎的事項（教育課程、カリキュラム・マネジメントなど）について学習します。また病弱教育の現状を踏まえ、自立活動の授業の在り方と個別の指導計画の作成・内容の取扱について理解を深めることを目指します。
共生科学専攻科目群	病弱教育総論	2	0	特別支援分野	3	病弱・身体虚弱児の状態を理解し、健康状態を回復、改善するための指導を学びます。授業内容の精選や指導法、教材教具などの工夫を学びます。
共生科学専攻科目群	重複障害教育総論	2	0	特別支援分野	4	視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する心理、生理、病理について学ぶとともに、重複障害の状態や特性及び心身の発達の段階、特別支援学校の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方、重複障害に関する教育課程・指導法(自立活動を含む)について学びます。
共生科学専攻科目群	いのちと衣食住	2	0.5	環境分野	1	人間の生存には魚介類ほか生き物、農畜産物、衣料・住居素材、化石燃料や鉱物資源など自然界由来の産物は必須です。資源の開発・利用とそれがもたらす生き物のいのちへの脅威とのバランスについて考察していきます。
共生科学専攻科目群	自然環境と資源開発	2	0.5	環境分野	2-3	2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標である「SDGs」が、どのように合意に至ったか、なぜ必要なのかなどを理解することで、「自然環境と資源開発」について、未来に向けて何をすべきか、共に考えを深めていきます。
共生科学専攻科目群	環境と社会	2	0.5	環境分野	2-3	生活の水、食べ物、ゴミなど身近な題材から、環境問題が社会経済のあり方や生活スタイルと深く結びついていることを社会的な見方や方法によって理解し、解決に向けた行動や道筋を考える力を修得します。
共生科学専攻科目群	環境法	2	0.5	環境分野	2-3	良好な環境と資源を守るための法に必要な基本的理論と、公害防止や自然保護に関する主要な法規を知るとともに、その運用の問題点を学びます。
共生科学専攻科目群	環境と倫理	2	0	環境分野	2-3	「人と自然との共生」（環境倫理）は「遊び」「なりわい」「ソーシャル・インクルージョン」とも深くかかわっています。「人と自然との共生」に係る様々なテーマについて具体的・実践的な生き方の問題として考えます。
共生科学専攻科目群	野外活動演習	2	1	環境分野	2-3	野外活動プログラムを、実際に企画・運営することを想定した演習を行います。自然環境や地域特有の環境の問題にも触れて、共生の観点からの理解と実践力を養います。
共生科学専攻科目群	地誌Ⅰ	2	0.5	環境分野	2-3	地域を総合的にとらえ、地域の全体像を理解する地誌学の基本を学びます。地誌学の方法論の基礎を習得し、世界の各地域の地誌の具体的な取り扱い例を理解していきます。
共生科学専攻科目群	地誌Ⅱ	2	0	環境分野	2-3	東アジア、東南アジア、南アジアなどを中心に、世界の地域的特色や歴史的背景に留意して、地誌学的な見方や考え方を学んでいきます。
共生科学専攻科目群	環境特別講義	1	1	環境分野	1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
共生科学専攻科目群	SDGsを考える	2	0	国際関係分野	1	地球規模課題に対応する国際枠組であるSDGsの成り立ちや特徴、17の目標に関する世界と日本の現状と、SDGs達成に向けた様々な主体による具体的な取り組みについて学ぶ。

共生科学専攻科目群	アジアの近代と社会	2	0	国際関係分野	2-3	人・物・文化の交流から見た東南アジアの歴史と社会について、主に近代以降を中心に学び、これまでの歴史の経緯を踏まえて、これからの日本と東南アジアのあり方を考えていきます。
共生科学専攻科目群	アメリカの歴史と文化	2	0	国際関係分野	2-3	「アメリカ」は単一のイメージに還元できない、さまざまな顔を持っています。この授業では現代アメリカ社会の複数性・多様性とそれがもたらす軋轢について学びます。
共生科学専攻科目群	アフリカの歴史と文化	2	0	国際関係分野	2-3	アフリカの豊かな歴史と文化の多様性について読み解きながら、そこに暮らす人々が私たちと地続きの世界を生活していることを学びます。
共生科学専攻科目群	ヨーロッパの歴史と文化	2	0	国際関係分野	2-3	まずはヨーロッパ全体を概観し、ヨーロッパとは何かを考えます。その後「ヨーロッパであり、ヨーロッパではない」ともいわれるイギリスの社会や文化における現代的課題をその歴史的背景から考察します。
共生科学専攻科目群	国際関係論	2	0.5	国際関係分野	2-3	国内社会とは異なる国際社会のさまざまな側面について学ぶこと通して国際的視野を養うとともに、共生的な世界を実現するために私たちに何ができるか考えていきます。
共生科学専攻科目群	国際法	2	0.5	国際関係分野	2-3	国際社会の紛争の予防及び紛争解決のために諸国家が作り上げてきたのが国際法です。事例と併せてその基本的なルールを学びます。
共生科学専攻科目群	中東と国際社会	2	0.5	国際関係分野	2-3	世界の火薬庫といわれる中東がなぜ不安定で紛争が多発するのか、現状を多角的なアプローチで分析、平和への展望を考察し、世界との共生の道を探ります。
共生科学専攻科目群	人間の安全保障	2	0	国際関係分野	2-3	国内外を問わず、人々の生存、生活、尊厳を脅かす諸問題をより深く考察・分析するために、人間の安全保障という考え方を学びます。
共生科学専攻科目群	開発協力論	2	0	国際関係分野	2-3	感染症や環境、紛争など、国境を超えて人類の未来を脅かす課題に対応するための開発途上国への国際協力について、具体的な事例を通して学びます。
共生科学専攻科目群	国際関係特別講義	1	1	国際関係分野	1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
共生科学専攻科目群	共生科学実践特別演習（1）	1	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
共生科学専攻科目群	共生科学実践特別演習（2）	2	0.5		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
共生科学専攻科目群	共生科学実践特別演習（3）	2	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
共生科学専攻科目群	共生科学実践特別演習（4）	2	2		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
共生科学専攻科目群	共生科学実践特別演習（5）	4	4		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
共生科学専攻科目群	共生科学実践特別演習（6）	8	8		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
初等教育専攻科目群	保育内容（健康）	2	0		1-2	幼児期の健康課題と取り巻く環境、健康の発達の意味を把握していきます。また、心身の発達と基本的な生活習慣の形成、怪我や病気の予防等の安全管理や安全教育、運動発達の理解について学んでいます。
初等教育専攻科目群	保育内容（人間関係）	2	0		1-2	乳幼児期のこどもの「人間関係」の発達と指導について理解するとともに、具体的な場面を想定し、「人と関わる力」を育むための指導を構想していきます。
初等教育専攻科目群	保育内容（環境）	2	0		1-2	乳幼児期のこどもにとっての環境として、自然環境、園内の環境、保育者や友だちといった人の存在を取り上げ、安全への配慮を含めてそれらの環境の特徴を学びます。
初等教育専攻科目群	保育内容（言葉）	2	0		1-2	幼児は、園生活の中で多様な体験や人とのかかわりを通して、生活に必要な言葉を獲得していきます。また、絵本や物語などの児童文化財に親しむ中でも、感性や言語感覚、想像力を豊かにします。幼児の成長にそった言葉の発達を理解し、保育者の役割・援助・環境の整え方について学んでいます。

初等教育専攻科目群	保育内容（音楽表現）	2	0		1-2	歌唱・器楽及び身近な自然音・環境音などに親しむ体験を通し、豊かな情操や感性育成について理解するとともに、音楽的な見方・考え方を活かし、幼児が主体的・対話的で深い学びができる指導方法を身に付けます。
初等教育専攻科目群	保育内容（造形表現）	2	0		1-2	表現活動の発達段階について理解し、さらに保育者の援助の基本や具体的な方法についても学んでいきます。
初等教育専攻科目群	保育内容の指導法（健康）	2	0.5		2-3	乳幼児の健康に関する課題に対応していく力の修得を目指す科目です。乳幼児期の発達・発育、運動遊びの意義について具体的な事例に触れながら学んでいきます。
初等教育専攻科目群	保育内容の指導法（人間関係）	2	0.5		2-3	幼児が安心して園生活を送るには、信頼関係の構築と楽しく過ごせる居場所が必要です。自己主張と自己抑制の関わり方を中心に、思いやりを育む話し合いについて学修します。
初等教育専攻科目群	保育内容の指導法（環境）	2	0.5		2-3	周囲のさまざまな環境（自然や人の生活）に好奇心や探究心をもって関わり、発見したりそれを楽しんだりすることができるようにする指導法を学びます。
初等教育専攻科目群	保育内容の指導法（言葉）	2	0.5		2-3	幼児が自分の気持ちを言葉で表現したり、美しい言葉や文字を使ったりして、相手と伝え合うことを楽しみ、活動の喜びを全員で味わえる言葉・文字遊びについて学修します。
初等教育専攻科目群	保育内容の指導法（音楽表現）	2	0.5		2-3	幼稚園の「音楽表現」のねらいや内容全般及び幼児の音楽的な発達について理解します。また、保育(音楽表現)指導案を作成し、演習を通して「音楽表現」の指導法を身に付けていきます。
初等教育専攻科目群	保育内容の指導法（造形表現）	2	0.5		2-3	幼児教育における遊びの重要性と主体的な学びを引き出す援助のあり方について保育指導案作成とともに実践を通して学びます。
初等教育専攻科目群	教科（国語）	2	0		1-2	人は言葉によって、思考力や想像力を広げていくことができます。国語科教育とは、それらの基礎を培うことにほかなりません。国語科教育の本質に迫ります。
初等教育専攻科目群	教科（社会）	2	0		1-2	社会科って何のために学ぶの？いつ頃誕生したの？その歴史は？学習指導要領の読み解き方は？教材化の方法は？共に学び修得していきましょう！
初等教育専攻科目群	教科（算数）	2	0		1-2	算数という教科は、量の解釈として科学、論理的数学、およびデータサイエンスの基礎を扱います。小学校での学習を、改めて見つめなおしてみましょう。
初等教育専攻科目群	教科（理科）	2	0		1-2	小学校学習指導要領（理科）の改善の視点やその特徴について、変遷等を踏まえて学修し、調査結果等から、さまざまな課題を克服する授業のあり方を考えます。
初等教育専攻科目群	教科（生活）	2	0		1-2	生活科の特質や目標を理解するとともに、学校や家庭、地域などの社会事象や自然や行事、遊びや飼育栽培など、その内容の本質を学びます。
初等教育専攻科目群	教科（音楽）	2	0		1-2	音楽を指導する上で必要な音楽の役割、音楽理論等の音楽の基礎を身に付けるとともに、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の指導の基になる理論を修得し、実践的指導に活かしていく方法を学びます。
初等教育専攻科目群	教科（図画工作）	2	0		1-2	小学校学習指導要領(図画工作)の目標や内容の取り扱い、図画工作科の評価法や子どもの発達特性と造形的な創造活動との関連、教材性の発見や題材の設定の仕方、他教科との関連や横断的な取り扱い方の配慮事項等について学びます。
初等教育専攻科目群	教科（家庭）	2	0		1-2	「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の内容を「生活の営みに係る見方・考え方」の視点で捉え、体験を通して生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けます。

初等教育専攻科目群	教科（体育）	2	0		1-2	小学校体育科の意義や価値を理解し、学習指導要領解説を基にした学習内容論や学習指導論の基礎を学びます。
初等教育専攻科目群	教科（外国語）	2	0		1-2	小学校における外国語活動・外国語の授業に必要な実践的な英語力や背景にある文化を理解し、中学校外国語との接続も踏まえて学びます。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(国語)	2	1		2-3	国語科はあらゆる学習の基盤をなしています。教室の子どもたちが、楽しく学び、そして言葉の力を確実に身につける国語科学習指導法について具体的に学び、授業力を身につけていきます。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(社会)	2	1		2-3	子どもにとって「楽しい、わかりやすい社会科授業」とは？ そのための指導案の作成の仕方は？ 求められる指導技術は？ 共に学び修得していきましょう！
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(算数)	2	1		2-3	子どもたちが自ら目的意識をもち、学ぶことの楽しさや有用性を実感できる算数教育を実践事例を通して学修します。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(理科)	2	1		2-3	小学校理科の目標「自然に親しみ」「理科の見方・考え方を働かせ」等、学習指導要領が目指すものを分析的に学び、実際の指導案の書き方や指導方法の工夫のポイントについて学びます。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(生活)	2	1		2-3	児童に自然現象や社会事象に関心を持たせ、直接体験により疑問や発見、感動を呼び起こし、自立への基礎力を養う指導法について学びます。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(音楽)	2	1		2-3	音楽科の領域、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」の目標・指導内容を理解し、それらの指導法や評価方法を身に付け、学習指導案を作成できるようにするとともに、実際に指導できるようにします。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(図画工作)	2	1		2-3	図画工作全般にわたって理解するとともに、学習指導案作成から模擬授業までの実践力の育成を目指します。また、授業改善のポイントについても考えていきます。（確認中）
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(家庭)	2	1		2-3	小学校学習指導要領（家庭）に示された目標、内容を理解すると共に、ICTの効果的な活用等を用いた指導法、評価について学び、実践的指導力を身に付けます。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(体育)	2	1		2-3	小学校における体育授業を実践する基礎的知識の修得を目指す科目です。実際に小学校で取り扱っている教材を体験し、実践的に学んでいきます。
初等教育専攻科目群	初等教科教育法(外国語)	2	1		2-3	小学校における外国語活動及び外国語の学習・指導・評価等に関する基本的な知識・実践的な指導技術を中学校外国語との接続も踏まえて学びます。
初等教育専攻科目群	教育原理	2	0		1	教えること、学ぶことは不思議に満ちています。さまざまな不思議にじっくりと向き合いながら、一つひとつ自分なりの答えを探す授業です。
初等教育専攻科目群	教職概論	2	0.5		1	教職とは何か。その根本に立ち返り、さまざまな視点で論じ考察します。「先生になりたい」という思いに肉づけをし、教育課題も取りあげます。授業では、対話や探究を通して、主体的な思考や深い学びを目指します。
初等教育専攻科目群	教育経営・学校安全論	2	0.5		2	初等・中等教育における教育経営の制度面及び課題、さらには安全教育や危機管理の基礎知識を学び、具体的な対応が図れることを狙いとします。

初等教育専攻科目群	教育心理学	2	0		2	教育心理学が「根拠に基づいて」子どもの発達を理解した上で教育を行うことを目指し、また、教育の場でのさまざまな問題を解決するための知識・技能・態度を修得することを目指していることについて学びます。
初等教育専攻科目群	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の理解	2	0.5		1	発達障害や不登校、貧困といった現代の生徒が抱える諸問題及びそれらへの対応、そして社会的自立について具体的に解説します。
初等教育専攻科目群	教育課程論	2	0.5		1	学校教育における教育課程の役割・機能・意義と教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し、最新の教育課程の方向性とカリキュラム・マネジメントについて学びます。
初等教育専攻科目群	道徳の理論・指導法（初等）	2	0.5		2	主体的な判断の下に行動し、他者とともによりよく生きる基盤となる道徳性の育成を目指す基礎を学び、指導計画や授業プランの作成、スクーリングにおける授業展開の構想など、実践的な指導力を身に付けます。
初等教育専攻科目群	総合的な学習の時間の指導法（初等）	1	0.5		3	総合的な学習の時間では、課題を見だし、情報を集め、整理・分析していく探究的な学修を進めます。このねらいを理解し、実践的な指導法の修得を目指します。
初等教育専攻科目群	特別活動の指導法（初等）	1	0.5		3	特別活動は、集団活動を通して、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の力を育みます。特別活動の考え方やすすめ方について学び、そこで求められる教員の実践的指導力を培うための基礎を学修していきます。
初等教育専攻科目群	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）	2	0.5		1	教育方法、授業づくり・保育環境づくりに関する基礎的事項、授業・保育における情報通信技術の活用法について理解し、授業・保育の構想・設計ができることをねらいとしています。
初等教育専攻科目群	幼児理解の理論と方法	2	0.5		3	こどもたちの育ちに関わる保育者は、こどもの何をみて、どのように育ちに関わるのか？この授業を通して、一人ひとりのこどもを見つめる視点を学びます。
初等教育専攻科目群	生徒・進路指導論（初等）	2	0.5		3	一人ひとりの児童の個性を伸ばし、自己実現をめざす自己指導能力を育てる生徒指導及び社会的・職業的自立に向けた進路指導・キャリア教育の意義や原理について学び、スクーリングでは事例研究を通して実践的な指導力の基礎を身に付けます。
初等教育専攻科目群	教育相談	2	0.5		3	令和4年に改訂された『生徒指導提要』では、教育相談について、「個人の資質や能力の伸長を援助するという発想」に基づき、「児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけること」と説明されています。自己実現のためには児童生徒の自己理解や他者理解が重要ですが、これを支える土台となるのは、教員自身の自己理解です。本科目では、教員として児童生徒や保護者に対する教育相談を行うにあたって必要となる諸要素について学びます。
初等教育専攻科目群	教育実習（初等）（1）	5	5		4	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。
初等教育専攻科目群	教育実習（初等）（2）	3	3		4	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。
初等教育専攻科目群	教職実践演習（初等）	2	2		4	待望の教員になるためのステップを登りつめてきたみなさんが、さらにステップアップして立派な教員になるための資質や能力を磨いていくための学びです。
初等教育専攻科目群	授業実践演習	2	0.5		2-3	授業づくりの基礎となる授業デザイン、授業運営、授業評価の方法と技術を学び、スクーリングにおいては、授業コミュニケーションに着目した授業について、模擬授業の中で相互に評価・改善しながら、効果的な授業づくりについて学んでいきます。
初等教育専攻科目群	多様な幼児・児童・生徒の支援演習	2	0.5		2-3	さまざまな支援ニーズのある幼児・児童・生徒を支える方法について主に特別支援教育の視点で検討します。受講者が話し合う形の事例検討が中心になります。

初等教育専攻科目群	学校ボランティア	1	1		2-3	学校体験活動で、教育実習の前段階として位置づけられています。担当教員の指導を受けながら、学校現場の観察・参加を通して学校の様子を知ることがねらいとしています。
初等教育専攻科目群	初等教育特別講義	1	1		1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
初等教育専攻科目群	共生科学実践特別演習（1）	1	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
初等教育専攻科目群	共生科学実践特別演習（2）	2	0.5		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
初等教育専攻科目群	共生科学実践特別演習（3）	2	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
初等教育専攻科目群	共生科学実践特別演習（4）	2	2		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
初等教育専攻科目群	共生科学実践特別演習（5）	4	4		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
初等教育専攻科目群	共生科学実践特別演習（6）	8	8		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
福祉専攻科目群	介護と看護の基礎知識	2	0		1	福祉にかかわるうえで必要となる基本的な医療知識を理解し、介護・看護の対象となる高齢者のエビデンスに基づいたケアの考え方を学修します。
福祉専攻科目群	現代社会とメンタルヘルス	2	0.5		1	現代社会の現状・課題・問題点を考えながら、私たちが現代社会の中で生きていくために求められるメンタルヘルスとは何であるかを考えていきます。
福祉専攻科目群	相談援助入門	2	0.5		2	ソーシャルワークに必要な技術は多々ありますが、この講義は対人関係支援に不可欠なコミュニケーション技法を中心に「相談援助って何？」という基礎から学んでいきます。
福祉専攻科目群	医学概論	2	0		2	「人体の構造と機能及び疾病」についての学修は、人という存在を身体・心理・社会の丸ごとで理解するために不可欠です。人の生涯を通じての健康を考えるためにも職場でも最も基礎的な知識として必要となります。
福祉専攻科目群	心理学と心理的支援	2	0		1	社会福祉士など対人援助者として必要な心理学的な支援に関して、知識と技術等、広範囲に学修しながら、対人援助者としての態度も学んでいきます。
福祉専攻科目群	社会学と社会システム	2	0.5		1	観念の世界でなく、現実には生起している社会事象を独自の道具を使って読み解いていきます。現代社会の問題について一緒に考えていきましょう。
福祉専攻科目群	社会福祉の原理と政策	4	0		2	2000年以降の「社会福祉基礎構造改革」により、我が国の社会福祉は理念や仕組みなどが大きく変化しました。業務を行う際の基本となる考え方や原理、福祉政策の変遷を理解していきます。
福祉専攻科目群	社会福祉調査の基礎	2	0.5		3	人々のニーズや地域の福祉課題を把握・分析して制度やサービスの改善や評価、新たなリソースの創出につなげていく際には、その根拠となる資料（データ）を示すことが不可欠です。その方法としての「社会調査」について学びます。
福祉専攻科目群	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	0		2	ソーシャルワークの価値、知識、スキル、実践の体系を理解し、ソーシャルワークとは何かを学びます。社会福祉士は日本においてソーシャルワークを担う専門職ですので、その根幹となる科目です。
福祉専攻科目群	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2	0		3	ソーシャルワークにおけるミクロ（個人と家族の支援）、メゾ（集団や組織への支援）、マクロ（地域や政策への対応）の各レベル、総合的かつ包括的な支援と多職種連携について学びます。
福祉専攻科目群	ソーシャルワークの理論と方法	4	1		2	ソーシャルワークの基盤と専門職で修得した内容を踏まえ、様々な領域においてソーシャルワーカーが行う実践が、どのように展開されていくのか、どのような理論や方法論にもとづいて、どのようなスキルが活用されるのかを学びます。

福祉専攻科目群	ソーシャルワークの理論と方法 (専門)	4	1		3	多様化、複雑化する課題に対応できるソーシャルワーカーを目指すための科目です。ソーシャルワーカーは、人々との協働的実践の展開をどのように行うのか、人の尊厳の保持をどのように実現するのかを学びます。また、良質な実践を展開するために重要となるスーパービジョンや多職種協働体制の構築についても学びます。
福祉専攻科目群	地域福祉と包括的支援体制	4	1		3	現代社会において、「地域＝コミュニティ」ひいては「地域福祉」という考え方が重要視されるようになった背景を理解し、構成内容や概念の変化の理由を時系列で学びます。また、具体的な推進機関や人的資源、法制度について学び、地域における福祉の展開について実践的に理解します。
福祉専攻科目群	福祉サービスの組織と経営	2	0		3	福祉サービスを提供している組織の種類や特徴を学修し、サービス提供機関が備えるべき経営の視点（人事管理、労務管理、経営管理等）について、具体的な内容や方法を学びます。
福祉専攻科目群	社会保障論	4	0		3	医療や年金などの社会保障制度は、私たちの生活に欠かせないものになっています。生活場面に応じて、どう利用し生活を守っていくかを考えていきます。
福祉専攻科目群	高齢者福祉論	2	0		3	高齢者を取り巻く環境や高齢者福祉制度の変遷、介護保険制度をはじめとした諸制度、高齢者支援に関わる専門職とその役割等について学びます。
福祉専攻科目群	障害者福祉論	2	0		3	障がいの特性と障がい者（児）とその家族、地域を基軸とした社会生活・環境を理解します。障がい福祉の歴史と現行の法・制度等について修得し、社会福祉士に期待される支援・援助を考えていきます。
福祉専攻科目群	児童・家庭福祉	2	0		3	児童が権利の主体であること踏まえ、児童とその家庭及び妊産婦の生活課題を整理し、その背景を理解したうえで適切な支援の仕組みやあり方を理解していきます。
福祉専攻科目群	貧困に対する支援	2	0		3	貧困問題は深刻さを増しています。貧困者への支援のあり方を学ぶことは、社会福祉士に必要な人権感覚を磨くためにも重要な学びとなると確信しています。
福祉専攻科目群	保健医療と福祉	2	0		3	現在、医療分野における福祉の存在意義は大きくなっています。医療と福祉の連携を中心に保健医療サービスの概要について学びます。
福祉専攻科目群	権利擁護を支える法制度	2	0		3	契約社会の中で、生きづらさを感じている社会的弱者（認知高齢者、知的・精神障がい者等）の実態を知り、法的な制度を学びつつ、その解決方法を探ります。
福祉専攻科目群	刑事司法と福祉	2	0		4	刑務所等にいる社会的弱者が、社会復帰後、再犯を犯す事がないように、福祉に繋げていく仕組み（更生保護）と重篤な触法精神障害者の処遇について地域定借を目指す医療、精神保健観察の仕組み（医療観察）を理解します。
福祉専攻科目群	ソーシャルワーク演習	2	1		3	実際の現場実習における個別支援や集団場面を想定し、基本的なコミュニケーション技術や面接技法等をロールプレイも行いながら学んでいきます。
福祉専攻科目群	ソーシャルワーク演習（専門）	8	2		4	実際の現場実習における個別支援や集団場面の中において、具体的な場面（事例）を活用しながらソーシャルワーク支援の展開を学んでいきます。
福祉専攻科目群	ソーシャルワーク実習指導	6	2		4	実習先では勿論、ソーシャルワーカーとしても必要なソーシャルワークの価値規範や倫理、個人のプライバシーの保護等を学んでいきます。
福祉専攻科目群	ソーシャルワーク実習Ⅰ	4	4		4	机上で学んだソーシャルワークの知識や技術を実践し、その中で得た内容を概念化し理論化・体系化していくことを学んでいきます。
福祉専攻科目群	ソーシャルワーク実習Ⅱ	1	1		4	ソーシャルワーク実習Ⅰとは異なる施設・事業所での実習を通し、実践した内容を概念化し理論化・体系化していくことを学んでいきます。
福祉専攻科目群	福祉特別講義	1	1		1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
福祉専攻科目群	共生科学実践特別演習（１）	1	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
福祉専攻科目群	共生科学実践特別演習（２）	2	0.5		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。

福祉専攻科目群	共生科学実践特別演習（3）	2	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
福祉専攻科目群	共生科学実践特別演習（4）	2	2		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
福祉専攻科目群	共生科学実践特別演習（5）	4	4		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
福祉専攻科目群	共生科学実践特別演習（6）	8	8		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
スポーツ身体表現専攻科目群	体づくり運動	1	1		1	体づくり運動は「競争」や「勝敗」に価値を置くのではなく「自己評価」や「達成」を重視し、「気づき」「関わりあうこと」を体感していく学修です。
スポーツ身体表現専攻科目群	器械運動	1	1		2	スクーリングでは、主に「マット」、「とび箱」、「鉄棒」の種目にあるそれぞれの運動課題の実践とともにその指導法、帮（補）助法を学びます。
スポーツ身体表現専攻科目群	陸上	1	1		1	スポーツの基本とされる「走る・跳ぶ・投げる」ことを通して、楽しさや奥深さを体験し、学びにつなげるための方法や技術、指導法を身につけていきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	水泳	1	1		2	水の中で「浮く・潜る・進む」などの動きの基礎と呼吸法を含めた正しい4泳法を身につけ、指導法を身につけていきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	サッカー	1	1		2	学生主体の学びとして頭と身体を駆使しながら他者とのコミュニケーションを図り、サッカーの本質や指導法を学びます。
スポーツ身体表現専攻科目群	バスケットボール	1	1		2	基本技術には、「パス」「ドリブル」「シュート」があり、段階的な練習法を学び技術を得るとともに指導法を学びます。
スポーツ身体表現専攻科目群	バレーボール	1	1		1	ネットの高さやコート広さ、ボールの大きさや柔らかさを工夫しながら、バレーボールの楽しさを体験し、技術の向上や指導法を学んでいきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	野球	1	1		2	野球は、「捕る」、「投げる」、「打つ」、「走る」といったさまざまな動きを伴います。上手くなる工夫や指導法、できるようになる楽しさを学んでいきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	柔道	1	1		3	前まわり受身と、基本的な投技である足技・手技・腰技、各3種類（合計9～12種類）及び、固技5種類をマスターすることを目標とし、指導法も学びます。
スポーツ身体表現専攻科目群	ダンス	1	1		3	ダンス領域の内容（創作ダンス、現代的なリズムのダンス、フォークダンス）について講義と実技を通して学修し、ダンス作品の創作や指導法に取り組みます。
スポーツ身体表現専攻科目群	バドミントン	1	1		1	バドミントンは「ネット型」の球技として親しみやすい種目です。本科目では技術やルールだけでなく歴史なども正しく学び、指導の基礎を学修します。
スポーツ身体表現専攻科目群	陸上演習	2	1		4	陸上競技の指導案や指導プログラムの作成、模擬授業や模擬指導を通して、「走る・跳ぶ・投げる」ことを指導する楽しさや方法を学んでいきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	球技演習	2	1		4	バスケットボールの指導案作成と模擬授業を実践し、バスケットボールの楽しさや指導法を学んでいきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	スポーツ原理	2	0.5		1	体育・スポーツを成立させるもの、つまり「原理」とは何か。人間への理解（教育、運動、遊び）を通して体育・スポーツの原理を考えていきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	スポーツ心理学	2	0.5		2	スポーツの心理的要因や心理的効果を理解し、競技スポーツの競技力向上や指導法、健康スポーツの実践方法を学んでいきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	スポーツ経営管理論	2	0		2	学校体育をはじめ各種スポーツ組織の力を高め、体育・スポーツの環境整備に必要な課題を創造できる能力を身につけていきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	スポーツ社会学	2	0		1	スポーツは近現代において社会や文化との関係性により著しく発展し、またさまざまな問題を引き起こしてきました。その諸相について学んでいきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	体育史	2	0		1	体育を広義に解釈すれば、人間の生活と密接不可分な身体文化となります。日本を中心とする体育史の学びから、身体文化に関わる歴史的・社会的諸現象を考えていきます。
スポーツ身体表現専攻科目群	運動学	2	0.5		3	人間のスポーツ運動を、スポーツを教えるうえで学ばなければならない内容とは何か、スポーツ運動学の視点から学び、考えていきます。

スポーツ身体表現 専攻科目群	生理学	2	0.5		2	生理学は、ヒトの体の働きを学ぶ学問です。ヒトの体の最小単位である細胞から各組織、臓器の働きまでを学び、身体への理解を深めます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	スポーツ生理学	2	0.5		3	生理学を基礎として、運動中の身体の生理的な応答について学びます。特に運動にかかわっている神経一筋、呼吸循環器を中心に運動にかかわる生理的な反応について理解を深めます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	衛生学	2	0.5		2	日本は長寿国ですが、それでも健康に関わる問題は枚挙に暇がありません。衛生学では、健康に負の影響を及ぼす因子を明らかにし、病気の予防と健康増進について学んでいきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	公衆衛生学	2	0.5		3	自身が地域社会、またそこで生活する人の健康のために何ができるのかを、様々なデータに基づいて公衆衛生的な知見から提案できるようになることを目指します。
スポーツ身体表現 専攻科目群	学校保健概論	2	0.5		2	学校保健は健康教育や健康診断と検診、安全対策など生徒の「命」に係わる内容であるため、より具体的な情報を元に適切な対応がとれるよう学修していきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	救急処置法	2	1		1	救急処置法は人の命を預かる職業である教員が必須条件で学ぶ科目です。身近な怪我、急病、事故の手当てと運搬などを行います。
スポーツ身体表現 専攻科目群	解剖学	2	0		2	解剖学は、基礎医学・臨床医学を問わず全ての生命科学領域において、その基盤となる非常に重要な学問の一つです。人体の構造や機能について学んでいきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	レクリエーション概論	2	0.5		2	レクリエーションは、余暇や娯楽活動など多岐にわたる活動であるため基本的構造や実施方法などを学び、自らが活動できるようプログラムを作成していきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	コーチング演習	2	1		3	スポーツにおける指導者の社会的役割を理解し、その上でスポーツ指導者の役割と使命を把握し、求められるスポーツ指導者像を探求していきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	スポーツメンタルトレーニング	2	0.5		3	スポーツ心理学の理論を用いて、スポーツ選手が持っている力を試合で十分に発揮するための方法を、体験しながら身につけていきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	スポーツマネジメント	2	0		4	スポーツ産業における組織や事業の運営、計画、戦略、人材管理などの問題点を洗い出し、解決策を考えていく科目です。
スポーツ身体表現 専攻科目群	アダプテッドスポーツ概論	2	0		1	共生社会を目指す日本は、まだまだ障害における壁があります。壁を低くするために導入編として障害の特性や障害理解について考えていきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	インクルーシブスポーツ	2	0		2	健常者や障がい者といった対象者を限定したスポーツではなく、対象者のニーズや心身の状態を踏まえて共生社会につながるスポーツとは何かということを考えていきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	スポーツ栄養学	2	0.5		4	スポーツをする人の健康維持、競技力向上、ケガ予防等のための栄養学を学ぶことを目的に、栄養学の基礎から応用、最新のスポーツ栄養学を説明していきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	トレーニング科学	2	0.5		3	トレーニングを闇雲に取り組んでしまうと怪我のリスクが高まり、効果的ではありません。トレーニングについて科学的な視点で基礎から学んでいきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	野外活動・スポーツ概論	2	0.5		4	キャンプなどの野外での活動や自然の中で行うスポーツの楽しさとは何かを考え、そのプログラムの作成や指導法について学んでいきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	保健授業論	2	0.5		2	保健の授業を計画していく上で、こういった視点を持つことが大事であるか、といった保健の教材づくりと教授法を学ぶ科目です。
スポーツ身体表現 専攻科目群	保健体育科指導法Ⅰ	2	1		3	これからの時代に求められる保健体育教員の資質と能力について考えながら、より良い体育の授業づくりの方法と学習指導案の作成について学びます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	保健体育科指導法Ⅱ	2	1		3	「保健体育」というと「体育」のイメージが大きいのですが、「保健」の授業もとても大切です。保健の授業づくりと学習指導案について学びます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	保健体育科指導法Ⅲ	2	1		4	保健体育科指導法Ⅰで学んだ指導案をもとに、模擬授業を実践することによって、指導の工夫や教材開発の必要性について学んでいきます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	保健体育科指導法Ⅳ	2	1		4	中学校、高等学校、保健体育の保健または体育理論に焦点をあて、授業づくりや単元構成を行います。また、授業実施に向け教材研究や模擬授業を行います。
スポーツ身体表現 専攻科目群	スポーツ身体表現特別講義	1	1		1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
スポーツ身体表現 専攻科目群	共生科学実践特別演習（１）	1	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	共生科学実践特別演習（２）	2	0.5		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。

スポーツ身体表現 専攻科目群	共生科学実践特別演習（3）	2	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	共生科学実践特別演習（4）	2	2		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	共生科学実践特別演習（5）	4	4		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
スポーツ身体表現 専攻科目群	共生科学実践特別演習（6）	8	8		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語学概論Ⅰ	2	0.5		2	国際共通語としての英語、英語の社会的属性、発話行為・ポライトネス、語彙、文法、音韻からみる英語らしさについて学ぶとともに、理解を深めるために具体的なケーススタディにも触れていきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語学概論Ⅱ	2	0		2-3	英語という言葉がいつ、どこで、どのように歴史上出現し、どのような過程を経て今日の国際語としての地位を築いたか。またその言語的特徴や発話のメカニズム、音の構造について学びます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語文学論（1）	2	0.5		2	イギリスの児童向け小説一冊を原文で読みます。ユーモアあふれるストーリーを楽しみながら、いきいきとした会話表現を学びます。また、文学作品の「読み」について考察し、作品論を書けるようにします。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語文学論（2）	2	0		2-3	著名なイギリス人作家の小説を読み、小説の味わい方や作品論の書き方、「小説とは何か」ということを学びます。十九世紀初頭のラブコメディをとおして、イギリスの人びとの生活や風俗習慣も垣間見ることができます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語文学講読（1）	2	0.5		2	複数のアメリカ人作家の短編小説をとおして、英語表現を学びます。同時に、文学作品のさまざまな楽しみ方を考えます。文化的背景なども考慮に入れながら作品の奥深さを考察できるようになることが目標です。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語文学講読（2）	2	0		2-3	「短編の名手」と謳われた二十世紀イギリス人作家のショートストーリーを複数読みます。コミカルで少しブラックな味わいのある物語は平易な英語で書かれており、楽しみながら英語の読解力向上につながります。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	実践英語コミュニケーションⅠ	2	0.5		1-2	ネイティブスピーカーによる授業を通して「聞く、読む、話す〔やり取り・発表〕、書く」のそれぞれについて実践的な英語運用能力を学びます。また、教材による学修で、4技能を向上させることができます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	実践英語コミュニケーションⅡ	2	0.5		2-3	「聞く、読む、話す〔やり取り・発表〕、書く」能力のレベルアップを図るとともに、計画書を作り、英語で考えをまとめて発表資料を作成し、それをもとに発表したり、他者とやり取りしたりする能力を磨きます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語基礎（Reading&Writing）	2	0		1	初歩からじっくり英語を学び直したい場合は、この科目からはじめましょう。e-learningでReadingや文法を学びますので、自分のペースで繰り返し学修できます。内容も学校英語とは異なり、大人向けに作成されています。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語総合（Reading&Writing）	2	0.5		2-3	e-learning教材を通して、英語科教員に必要な「読む」及び「書く」の能力を身につけます。また、スクーリングでは、パラグラフ・ライティング、エッセイ・ライティングについて学び、「書く」能力を磨きます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語基礎（Listening&Speaking）	2	0		1	e-learning教材で指定された動画を視聴し、音声に合わせて発話する活動を実施することにより、基礎的なリスニングおよび発話能力を養成する科目です。初級～中級レベルの英語による動画を中心にコースを編成しています。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語総合（Listening&Speaking）	2	0.5		2-3	e-learning教材を通して、英語科教員に必要な「聞く」及び「話す」の能力を身につけます。また、プレゼンテーションの方法を学び、スクーリングでは、実際にプレゼンテーションを行うことで、「話す」能力を磨きます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	異文化理解	2	0.5		2-3	文化の多様性及び異文化交流の意義について意見交換をしながら理解を図ります。英語科学習指導要領の変遷を知り、「異文化理解」のコンセプトが現在大きく変化していることを理解することが大前提になります。

グローバルコミュニケーション 専攻科目群	異文化間コミュニケーション	2	0.5		1-2	基本となる視点や理論を学ぶとともに、他者への共感と他者理解の重要性について考えを深めます。また、実践的なコミュニケーション能力の育成も図るとともに、自文化を相対的に捉える視点を養います。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語演習（1）	2	1		3-4	BBC（イギリス公共放送）ニュース映像を使ったテキストで、イギリス内外の情勢に触れながら、一般人の英語（主にイギリス英語）の聞き取りを含む高度なリスニング力や発信力（論理的な英文エッセイ作成）を養います。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語演習（2）	2	1		3-4	オンライン教材を使い、高校英語科のクラスでどのような質問を発すべきか、教材をどのように扱えば、自律的学習が可能になる野かを学びます。SCでは、希望する校種の教科書を使い、模擬授業を行います。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語科指導法Ⅰ	2	0.5		2	小学校英語が始まったことから、中学校・高校の英語教育も大きく変わりました。何が変わって、英語科ではどのような教育が求められているのか、小・中・高の一貫した流れも考えながら、全ての前提となる基本を学びます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語科指導法Ⅱ	2	0.5		3	英語科指導法Ⅰの内容を踏まえ、英語科の指導と評価の計画、学習指導案の作成方法について理解するとともに、5つの領域の実践的指導の具体例の考察を通して、効果的な言語活動の指導法を学びます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語科指導法Ⅲ	2	0.5		3	英語科指導法Ⅰ・Ⅱの内容を踏まえて、領域を統合した言語活動の指導法、アクティブ・ラーニングについて学びます。指導と評価の一体化について理解を深め、パフォーマンス評価について実践的な知識を身につけます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	英語科指導法Ⅳ	2	0.5		4	指導法のⅠ～Ⅲを履修し、教科書で教える授業が十分に理解できている方が、手持ちの引き出しを増やすために、帯活動、投げ尾込み活動や隙間活動を実践を通して学ぶ、指導法総仕上げのクラスです。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	国際英語	2	0		2-3	国際英語が指す内容だけではなく、国際英語に関連する領域にも触れながら理解を深め、国際英語とどのように接していったらいいのかを考察していきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	資格英語（TOEIC）	2	0.5		2-4	TOEICは現在の日本の就職活動で最も参照される英語能力試験です。この科目では平均的日本人よりやや高い600点を目指すe-learning教材で頻出問題の演習を行い、スクーリングでは実践的な試験対策のコツを学びます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語教育	2	0.5		1	外国人に日本語を教える「日本語教育」の基礎的な知識の修得と、母語として無意識に修得した日本語の言語的特徴を客観的に見直す視点の育成を目指します。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	言語学	2	0		1	言語学はことばを音声、形態、文法、意味、運用などさまざまなアプローチで科学的に分析していく学問です。日常使用していることばを客観的に再認識し、言語の深淵を探っていきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語学（1）	2	0.5		2-3	日本語の音声的特徴がどんなものか概観し、外国語として学ぶ際にどんな問題が起きうるか、教員ができる役割は何か、共に考えを深めます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語学（2）	2	0.5		2-3	「文字表記・語彙」について、更に深く学ぶことを目的とし、日本語を教える際に必要な「文字表記・語彙」の知識を幅広い面から考察していきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語学（3）	2	0.5		2-3	「文法」について、更に深く学ぶことを目的とし、日本語を教える際に必要な「文法」の知識を幅広い面から考察していきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語教授法	2	1		3-4	日本語教育で用いられている、日本語を日本語で教える「直接法」の実践、さまざまな教授法の理解、カリキュラムデザインの構成等、学習者に日本語を教えるうえで必要な「教え方」を具体的に考えます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語教育演習Ⅰ	1	1		3-4	会話、発音、聴解の指導法、授業での具体的な練習方法を学び、グループワークでのプチ模擬授業を通して受講者同士で考察し、指導法の理解を深めていきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語教育演習Ⅱ	1	1		3-4	文字言語の指導法、学習者に理解しやすい指導法とは何かを実際にプチ模擬授業を通して気づき、理解していきます。受講者同士で教案作成を行い教育実習用の教案を作成していきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語教育実習	1	1		3-4	前期、後期での学修の総括として、チームティーチングで外国人学習者に授業を行います。模擬授業、フィードバック、教案修正の繰り返して授業の導入から展開、定着までの一連の流れをつかみます。

グローバルコミュニケーション 専攻科目群	日本語授業実践演習	1	1		3-4	教育実習での自分自身の授業、他者の授業を客観的に分析し、改善方法を考えます。授業を振り返る方法を学び、教育実習で使用した教案を修正し、授業を見直す視点を育成していきます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	地域研究入門	2	0		1	現実世界の諸課題を学際的に研究する地域研究のアプローチを学び、グローバル及びグローバルな課題を多角的・批判的に考察する思考力を身につけることを目指します。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	地域と食文化	2	0		2-3	私たちの暮らしと地域に根付く食と農の文化を、グローバル化する世界との関連性から読み解き、ローカル・グローバルな視点から持続可能な未来に向けた食農のあり方を考察します。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	国際観光論	2	0		2-3	21世紀は観光の時代とも呼ばれています。国際観光はどのような歴史的・社会的背景をもち、文化的な問題や可能性があるのか、日本と世界の事例から考えていきましょう。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	移民と社会	2	0.5		2-3	現在日本には、技能実習生や留学生など働く外国人が数多くいる他、外国にルーツを持つことも増えています。彼らをどう受け入れ活力ある社会を作っていくか考えます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	風土と場所文化	2	0		2-3	グローバルな市場経済が人々の暮らしの土台さえ奪ってしまう状況の中で、独自の「場所文化」を持った多様な地域が循環共生型の社会を構築し、グローバルに共生する形を考えます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	比較文化論	2	0		2-3	異なった国の文化を比較し、相互の関係性やその影響を研究する科目です。そして重要なことは、その成果をいかに活かしていくかということです。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	グローバルコミュニケーション特別講義	1	1		1-4	その時々ホットな話題を中心に専門の教員が講義等を行います。毎年違う授業を体感してください。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	共生科学実践特別演習（1）	1	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	共生科学実践特別演習（2）	2	0.5		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	共生科学実践特別演習（3）	2	1		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	共生科学実践特別演習（4）	2	2		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	共生科学実践特別演習（5）	4	4		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
グローバルコミュニケーション 専攻科目群	共生科学実践特別演習（6）	8	8		1-4	「共生」の学びには、実践的な「現場」での学びが大事です。様々な領域で、現場での実践的な学びを深めます。
資格関連科目群	介護等の体験	1	1		2	介護等体験を行う
資格関連科目群	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5	5		4	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。
資格関連科目群	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3	3		4	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。
資格関連科目群	教育実習（中等）Ⅱ	3	3		4	教育実習は、教員になるための一大関門です。どのような準備をして臨むべきか、また、実習をいかに活かしていくのかについて学びましょう。
資格関連科目群	教育実習（特別支援）	3	3		4	テキスト、スクーリングでは教育実習の意義や学習指導案等について学び、特別支援学校の教育実習では具体的な指導内容、方法等について学ぶ。これらの学びを通して、教師になろうとする意志を高めていきましょう。
資格関連科目群	教職実践演習（中等）	2	2		4	待望の教員になるためのステップを登りつめてきたみなさんが、さらにステップアップして立派な教員になるための資質や能力を磨いていくための学びです。

資格関連科目群	特例・教職入門	2	0		1-4	受講者の経験や実践と照らし合わせながら「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」(中教審答申)の内容を学びます。
資格関連科目群	特例・学校の制度	2	0		1-4	教育・保育の本質および幼児期の教育を含む学校(園)の社会的役割を問いつつ、学校教育制度などの変遷、制度を支える教育観・教育思想・保育思想などを考察し、今日の教育制度の諸課題とその解決方向を検討します。
資格関連科目群	特例・教育課程編成論	1	0		1-4	教育課程、保育の内容の全体的な計画、教育及び保育の内容並びに子育て支援等に関する全体的計画の基本、長期指導計画及び短期指導計画の理論と実際、反省・評価と指導計画の改善、環境を通して行う教育、遊びと総合的な保育・指導について学びます。
資格関連科目群	特例・保育指導法	1	1		1-4	幼稚園教育要領における領域「表現」のねらいと内容について理解し、乳幼児期の表現に関する発達について学ぶとともに、幼児期の表現に対する保育者の援助の基本的な考え方や、遊びが学びに結び付いていくための具体的な指導法について学びます。(確認中)
資格関連科目群	特例・教育の方法と技術	1	0		1-4	幼児教育における環境、教材、情報メディアの活用、指導計画、評価の意義と必要性について学び、実際に指導計画を立案する中で環境や情報メディアをどう活かすかについて実践的に学びます。
資格関連科目群	特例・幼児理解	1	0		1-4	乳幼児理解は、保育実践の出発点であり、援助の在り方の源でもあること、乳幼児をどう理解するかによって保育のあり方も異なってくること、一人一人の乳幼児のありのままを受け止め、その内面を理解することであることを学ぶとともに、保育者自身の生育歴や経験などから培われた価値観、人生観というフィルターを通して、乳幼児を理解する危険性についても学びます。